



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年5月8日

上場会社名 株式会社大冷 上場取引所 東
 コード番号 2883 URL <https://www.dai-rei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富田 史好
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括本部長 (氏名) 黒川 岳夫 (TEL) 03(3536)1551
 定時株主総会開催予定日 2020年6月16日 配当支払開始予定日 2020年6月17日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月17日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の業績 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	26,864	△1.4	1,185	11.1	1,197	10.6	814	10.7
2019年3月期	27,235	△0.8	1,066	26.0	1,083	26.2	735	26.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
2020年3月期	円 銭 136.18	円 銭 —	% 10.4	% 10.3	% 4.4
2019年3月期	円 銭 122.45	円 銭 —	% 9.9	% 9.2	% 3.9

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 一百万円 2019年3月期 一百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	10,992	8,007	72.9	1,339.54
2019年3月期	12,262	7,626	62.2	1,269.26

(参考) 自己資本 2020年3月期 8,007百万円 2019年3月期 7,626百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	274	△71	△443	3,797
2019年3月期	1,208	195	△346	4,038

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2019年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 55.00	円 銭 55.00	百万円 330	% 44.9	% 4.5
2020年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 55.00	円 銭 55.00	百万円 330	% 40.4	% 4.2
2021年3月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 55.00	円 銭 55.00		% 94.4	

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,776	△22.1	227	△61.8	232	△61.2	159	△60.5	26.79
通期	21,680	△19.3	506	△57.3	506	△57.7	347	△57.4	58.24

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期	6,008,300 株	2019年3月期	6,008,300 株
② 期末自己株式数	2020年3月期	50,651 株	2019年3月期	27 株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	5,978,127 株	2019年3月期	6,008,273 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況 (1) 当期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	8
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(持分法損益等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当期におけるわが国経済は、海外経済の減速や米中の貿易摩擦に警戒感が残る中で、輸出の落ち込みや設備投資意欲が停滞したことにより、企業収益にも弱さが見られるなど、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。また、2020年に入ってから新型コロナウイルス感染症の世界各地への感染拡大により、サプライチェーンの寸断等による影響のみならず、世界経済全体の悪化が懸念される中、各国が協調して防疫や経済への対策を行っているものの、渡航制限等による影響が見られるうえに、情勢は時々刻々と変化しており、先行きに対する警戒感はさらなる高まりをみせております。

国内食品業界におきましては、消費者の節約志向が強まる中、原材料価格の上昇や物流コストの高騰、さらに新型コロナウイルス感染症対策の外出自粛による外食産業の落ち込みや学校の一斉休校による学校給食の停止等が業界全体に影響を及ぼしております。

このような状況のもと業務用冷凍食品のみを取り扱っている当社は、ユーザーへの直接販売や新商品の販売強化に積極的に取り組むなど、収益力の向上に努めてまいりました。以上の結果、骨なし魚事業におきましては、新商品や外郭団体PB商品などの拡販に努めましたが、他社との価格競争による販売鈍化により売上高11,039,416千円（前年同期比4.9%減）、ミート事業におきましては、「楽らく匠味シリーズ」の販売は好調に推移したものの、匠味シリーズ以外のミート商品の販売鈍化により売上高2,636,797千円（前年同期比1.7%減）、その他事業におきましては、大手ユーザーとの取組み強化が順調に推移したことにより売上高13,188,645千円（前年同期比1.9%増）となりました。なお、当期の売上高は第3四半期累計期間まで前年を上回る状況で推移いたしました。第4四半期におきまして新型コロナウイルス感染症対策による外出自粛等の影響により外食産業向けや学校給食への販売が鈍化したため、26,864,859千円（前年同期比1.4%減）となりました。

損益面につきましては、第4四半期におきまして販売鈍化があったものの、値引き削減による粗利率改善が大きく寄与したことにより、営業利益は1,185,364千円（前年同期比11.1%増）、経常利益は1,197,574千円（前年同期比10.6%増）、当期純利益は814,127千円（前年同期比10.7%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産の部)

当事業年度末における総資産は、10,992,220千円となり、前事業年度末と比較して1,270,414千円減少となりました。これは主に現金及び預金が241,085千円、売掛金が1,102,337千円減少したことによるものです。

(負債の部)

当事業年度末における負債合計は、2,984,268千円となり、前事業年度末と比較して1,652,279千円減少となりました。これは主に買掛金が1,622,810千円、未払費用が39,678千円減少したことによるものです。

(純資産の部)

当事業年度末における純資産合計は、8,007,951千円となり、前事業年度末と比較して381,865千円増加となりました。これは主に自己株式の取得を100,043千円行った一方で、配当金の支払を330,455千円、当期純利益を814,127千円計上したことにより利益剰余金が483,672千円増加したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(単位：千円)

	2019年3月期	2020年3月期	差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,208,494	274,593	△933,900
投資活動によるキャッシュ・フロー	195,351	△71,570	△266,922
財務活動によるキャッシュ・フロー	△346,042	△443,614	△97,571
現金及び現金同等物に係る換算差額	676	△493	△1,170
現金及び現金同等物の増減額	1,058,479	△241,085	△1,299,564
現金及び現金同等物の期末残高	4,038,301	3,797,216	△241,085

営業活動によるキャッシュ・フローは、274,593千円の収入（前期は1,208,494千円の収入）となりました。仕入債務

の減少が1,622,810千円あった一方で、税引前当期純利益が1,197,574千円、売上債権の減少が1,115,548千円ありました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、71,570千円の支出（前期は195,351千円の収入）となりました。貸付金の回収による収入が182,300千円あった一方で、貸付による支出が250,000千円ありました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、443,614千円の支出（前期は346,042千円の支出）となりました。自己株式の取得による支出が100,043千円、配当金の支払が330,455千円ありました。

以上の結果、当期末における現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ241,085千円減少し3,797,216千円となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率 (%)	67.4	69.6	63.9	62.2	72.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	102.3	108.4	110.7	87.7	96.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	17.5	4.4	2.4	1.0	14.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	—	—	—

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルスの影響により景気の先行きが不透明な中で、業務用冷凍食品のみを取り扱う当社としましては、外食産業や学校給食の落ち込みによる影響が大きく、次期の業績予想につきましては、緊急事態宣言が暫く続くものの、第1四半期中には緊急事態宣言が解除され徐々に景気が回復していくことを前提として作成しております。今後、この前提条件が大きく変化して業績予想に多大な影響を及ぼすことが予想された場合には、速やかに業績予想の修正を発表いたします。

a. 売上高

<骨なし魚事業>

次期につきましては、他社との価格競争など厳しい環境の継続が見込まれるものの、当社独自商品である「調味シリーズ」「ダイスカットシリーズ」の販売などに注力してまいります。これにより売上高は8,640,560千円（前期比21.7%減）を予定しております。

<ミート事業>

主力商品である「楽らく匠味シリーズ」の拡販を図るとともに、匠味シリーズ以外の商品のリニューアルを図り、販売を強化してまいります。これにより売上高は2,046,240千円（前期比22.4%減）を予定しております。

<その他事業>

次期につきましては、ユーザーへの直接販売継続を図るとともに、既存商品のリニューアル強化とマーケットニーズに合った新商品の販売推進により更なる拡販を図ってまいります。これにより売上高は10,993,200千円（前期比16.6%減）を予定しております。

b. 売上原価・販売費及び一般管理費

仕入価格の安定に伴う粗利率の改善を見込んでおり、引き続き仕入のコストダウンに取り組んでまいります。また販売費及び一般管理費では、売上減少に伴う運賃や保管料の減少を見込んでおります。

以上により、第2四半期累計期間の業績予想は、売上高10,776,655千円（前期比22.1%減）、営業利益227,723千円（前期比61.8%減）、経常利益232,667千円（前期比61.2%減）、四半期純利益は159,613千円（前期比60.5%減）となる見込みであります。また、通期の業績予想は、売上高21,680,000千円（前期比19.3%減）、営業利益506,000千円（前期比57.3%減）、経常利益506,000千円（前期比57.7%減）、当期純利益347,000千円（前期比57.4%減）となる見込みです。

なお、当社の商品購買につきましてはすべて国内取引となっておりますが、パートナー工場の約60%が海外で生産しており、商品の仕入価格について間接的に為替の影響を受けております。当社では、1米ドル110円を前提に次期の業績予想を作成しましたが、次期の為替相場が当該前提と異なる状況となった場合、前記の売上高、費用及び利益は、為替相場の変動に応じた影響を受ける見込みであります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、当面は日本基準を採用することとしておりますが、海外事業展開の進展状況のほか、国内外の動向も踏まえながら、IFRS適用に関する検討を進めてまいります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,038,301	3,797,216
受取手形	51,612	38,402
売掛金	4,891,740	3,789,403
商品	2,220,971	2,251,220
貯蔵品	12,536	12,590
前払費用	11,096	10,984
その他	91,468	158,816
貸倒引当金	—	△576
流動資産合計	11,317,726	10,058,057
固定資産		
有形固定資産		
建物	503,521	503,521
減価償却累計額	△388,483	△397,473
建物(純額)	115,037	106,047
構築物	1,144	1,144
減価償却累計額	△1,132	△1,135
構築物(純額)	11	8
機械及び装置	31,410	32,940
減価償却累計額	△18,189	△21,139
機械及び装置(純額)	13,220	11,800
工具、器具及び備品	44,796	45,918
減価償却累計額	△38,740	△41,629
工具、器具及び備品(純額)	6,055	4,289
土地	512,259	512,259
リース資産	33,315	57,605
減価償却累計額	△28,830	△33,409
リース資産(純額)	4,485	24,195
有形固定資産合計	651,070	658,600

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
無形固定資産		
ソフトウェア	53,526	27,146
リース資産	7,533	16,963
その他	4,828	4,828
無形固定資産合計	65,888	48,938
投資その他の資産		
投資有価証券	22,194	20,534
繰延税金資産	104,166	105,213
その他	108,898	108,881
貸倒引当金	△7,310	△8,006
投資その他の資産合計	227,949	226,623
固定資産合計	944,908	934,162
資産合計	12,262,634	10,992,220

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,520,855	1,898,045
リース債務	11,384	7,718
未払金	235,725	223,824
未払費用	220,910	181,231
未払法人税等	234,986	230,259
預り金	19,404	9,710
前受収益	818	833
賞与引当金	31,282	29,580
その他	30,009	38,952
流動負債合計	4,305,377	2,620,157
固定負債		
リース債務	635	32,437
退職給付引当金	224,264	229,191
その他	106,271	102,482
固定負債合計	331,170	364,111
負債合計	4,636,548	2,984,268
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,909,825	1,909,825
資本剰余金		
資本準備金	686,951	686,951
資本剰余金合計	686,951	686,951
利益剰余金		
利益準備金	185,083	185,083
その他利益剰余金		
別途積立金	2,100,000	2,100,000
繰越利益剰余金	2,739,540	3,223,212
利益剰余金合計	5,024,623	5,508,295
自己株式	△47	△100,091
株主資本合計	7,621,352	8,004,981
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,733	2,970
評価・換算差額等合計	4,733	2,970
純資産合計	7,626,086	8,007,951
負債純資産合計	12,262,634	10,992,220

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	27,235,722	26,864,859
売上原価		
商品期首たな卸高	1,972,903	2,220,971
当期商品仕入高	23,233,305	22,486,187
合計	25,206,208	24,707,159
商品期末たな卸高	2,220,971	2,251,220
売上原価合計	22,985,237	22,455,939
売上総利益	4,250,485	4,408,920
販売費及び一般管理費		
役員報酬	162,840	173,900
給料	772,349	782,100
賞与引当金繰入額	31,282	29,580
退職給付費用	44,353	47,313
運搬費	652,196	652,592
減価償却費	56,223	50,469
保管費	514,979	525,159
貸倒引当金繰入額	—	1,272
その他	949,796	961,166
販売費及び一般管理費合計	3,184,021	3,223,555
営業利益	1,066,464	1,185,364
営業外収益		
受取利息	2,202	1,907
受取配当金	307	325
受取賃貸料	8,976	8,976
為替差益	676	—
その他	6,751	3,737
営業外収益合計	18,913	14,946
営業外費用		
賃貸収入原価	1,770	2,019
為替差損	—	493
その他	575	223
営業外費用合計	2,346	2,736
経常利益	1,083,031	1,197,574
税引前当期純利益	1,083,031	1,197,574
法人税、住民税及び事業税	354,292	383,716
法人税等調整額	△6,970	△269
法人税等合計	347,322	383,446
当期純利益	735,708	814,127

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
当期首残高	1,909,825	686,951	686,951
当期変動額			
剰余金の配当			
当期純利益			
自己株式の取得			
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			
当期変動額合計	—	—	—
当期末残高	1,909,825	686,951	686,951

	株主資本					自己株式	株主資本合計
	利益剰余金				利益剰余金合計		
	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計			
		別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	185,083	2,100,000	2,334,286	4,619,369	△47	7,216,098	
当期変動額							
剰余金の配当			△330,455	△330,455		△330,455	
当期純利益			735,708	735,708		735,708	
自己株式の取得							
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	405,253	405,253	—	405,253	
当期末残高	185,083	2,100,000	2,739,540	5,024,623	△47	7,621,352	

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	5,028	5,028	7,221,127
当期変動額			
剰余金の配当			△330,455
当期純利益			735,708
自己株式の取得			
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△294	△294	△294
当期変動額合計	△294	△294	404,958
当期末残高	4,733	4,733	7,626,086

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
当期首残高	1,909,825	686,951	686,951
当期変動額			
剰余金の配当			
当期純利益			
自己株式の取得			
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			
当期変動額合計	—	—	—
当期末残高	1,909,825	686,951	686,951

	株主資本					自己株式	株主資本合計
	利益剰余金				利益剰余金合計		
	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計			
		別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	185,083	2,100,000	2,739,540	5,024,623	△47	7,621,352	
当期変動額							
剰余金の配当			△330,455	△330,455		△330,455	
当期純利益			814,127	814,127		814,127	
自己株式の取得					△100,043	△100,043	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	483,672	483,672	△100,043	383,628	
当期末残高	185,083	2,100,000	3,223,212	5,508,295	△100,091	8,004,981	

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	4,733	4,733	7,626,086
当期変動額			
剰余金の配当			△330,455
当期純利益			814,127
自己株式の取得			△100,043
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,763	△1,763	△1,763
当期変動額合計	△1,763	△1,763	381,865
当期末残高	2,970	2,970	8,007,951

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,083,031	1,197,574
減価償却費	60,034	54,179
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	1,272
受取利息及び受取配当金	△2,509	△2,233
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,217	△1,701
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,011	4,926
売上債権の増減額(△は増加)	76,611	1,115,548
たな卸資産の増減額(△は増加)	△245,905	△30,303
仕入債務の増減額(△は減少)	448,405	△1,622,810
その他	2,501	△55,743
小計	1,423,962	660,708
利息及び配当金の受取額	2,509	2,233
法人税等の支払額	△217,978	△388,348
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,208,494	274,593
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,424	△2,652
無形固定資産の取得による支出	△1,660	△855
投資有価証券の取得による支出	△870	△881
貸付けによる支出	△150,000	△250,000
貸付金の回収による収入	346,000	182,300
その他	10,307	519
投資活動によるキャッシュ・フロー	195,351	△71,570
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△15,587	△13,115
自己株式の取得による支出	—	△100,043
配当金の支払額	△330,455	△330,455
財務活動によるキャッシュ・フロー	△346,042	△443,614
現金及び現金同等物に係る換算差額	676	△493
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,058,479	△241,085
現金及び現金同等物の期首残高	2,979,821	4,038,301
現金及び現金同等物の期末残高	4,038,301	3,797,216

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社の事業セグメントは、業務用冷凍食品卸売事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,269.26円	1,339.54円
1株当たり当期純利益金額	122.45円	136.18円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益(千円)	735,708	814,127
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	735,708	814,127
普通株式の期中平均株式数(株)	6,008,273	5,978,127

(重要な後発事象)

該当事項はありません。